



## 一般財団法人 電気安全環境研究所(JET) 令和5年11月10日

## 1. JETの定置用蓄電池用系統連系保護装置等認証制度の発足の経緯と現状について

定置用蓄電システムに関する系統連系認証は、2011年3月11日に発生した東日本大震災を契機として、制度が発足。

- 一般家庭等において蓄電池併設型分散電源システムの導入のニーズが高まる中、平成23(2011)年度第三次補正予算「定置用リチウムイオン蓄電池導入促進対策事業費補助金」がスタート。
- 蓄電池併設型分散電源システムを導入する際の系統連系協議の簡素化を目的に、業界団体と連携して、蓄電池システム用系統連系保護装置認証制度として、2012年7月13日に受付を開始。
- これまでは、当該認証制度がなく、現状まで約100モデルを認証し、定置用蓄電池の普及拡大に貢献。
- 円滑に系統連系を進める任意の認証制度であり、現状はJETのみが認証制度を提供しているが、他の認証機関も参入することは可能。

※なお、定置用小型燃料電池システムに関する系統連系認証については、JETの他、2つの認証機関が参入。また、定置用蓄電池の安全性に関する認証制度は、JETの他、3つの認証機関が参入。

## 2. 系統連系保護装置等認証の効果的な運用改善について

## ①【試験期間の短縮】

- これまで、業界団体の要望等を受けて、試験設備の拡充や要員の充実等を図り、運用改善を進めているところ。その結果、直近のデータでは(過去に認証を受けた事業者であれば)平均で概ね90~100営業日程度まで短縮。
- 新たに申し込み頂いた事業者は、不具合・不適合が発生することが多く、改善対応や試験のやり直し等により数ヶ月から1年程度の時間がかかることもある。このため、希望に応じて設計段階でのプレ評価を行う等、認証期間の短縮に努めている。**引き続き認証期間の短縮化に努める。**



## ②【他認証機関の試験結果の受け入れ】

- 系統連系保護装置等認証では、蓄電池部は従来より国内規格に対応した国際規格(IEC 62619)による他認証機関の認証を受け入れ(概ね1/3程度はJET以外の認証)。なお、ご指摘のレーザによる類焼試験については、現時点で、実績はない。
- パワーコンディショナーを含めた蓄電池用システムの構造や温度試験等は、評価をJETで行うこととしており、ルールが明確ではなかったが、2023年よりSマーク認証を発行している4機関の認証製品について、適切な試験データの提出があれば受け入れる運用に改善。問合せはあったが実績はないことから、**認証取得希望者に対する説明に努めたい。**

## ③【透明性の確保】

- 低圧系統連系保護装置等の認証の費用についても、従来よりJETホームページで試験項目毎の手数料を公開。製品の構造や仕様により試験項目が異なることから、認証取得希望者の要請に応じて見積もりを無償で提供。
- 認証の試験方法は、JETのホームページから申込み・入手が可能。JETの認証申込を予定している者、その代理人、個別連系協議で必要とする者等に対して無償で提供している。個別連系協議等で**必要とする者に対しても提供している旨の明記をしてわかりやすくしたい。**

## ④【認証取得者の要望の検討】

- 国内外メーカーの装置構成の違いに対応して認証対象機器の追加するなど、認証取得者の新たなニーズや要望に前向きに対応。認証製品の部品の変更の対応を含め、**引き続き、認証取得者のニーズを把握し、必要な対応に努めたい。**